

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 475 2020.12.18
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP 

検索 

12月定例会
閉会しました

次期の介護保険料 (基準額案)は、月 5,298円

介護報酬の改定で変動する可能性があります

下水道料金の値上げ前提の 審議会条例に反対しました

市議会 12月定例会は 16日に閉会しました。日本共産党議員団は提案された 26議案のうち、下水道事業経営審議会を設置する条例 1議案に討論を行って反対、残りの議案に賛成しました。

●尾張北部環境組合が 12月 23日に予定していた全員協議会は不開催となりました。
(前号記事を訂正します)



江南市介護保険料 (基準額) の推移



市民生活にかかわる来年度からの各種計画案が次々発表され、パブリックコメントが目白押しです。その一つが来年度から3か年の第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画(案)です。

基金半分を取り崩し、保険料は 10⇒12 段階に細分化

介護保険制度ができて 21年目。3年毎の計画策定のたびに、保険料は上がり続けています。(上グラフ)

第8期の介護保険料基準月額案は、265円アップの5,298円。約8億円にも積みあがった準備基金を取り崩して値上げ回避を求めてきましたが、案では半分の4億円をくずし、残りは第9期以降に備え持ち越す計画です。

要望してきた保険料の所得段階区分の細分化が実現。これまでの10段階から12段階に細分化し、高所得者層の負担を強化し全体の保険料を引き下げます。(第12段階は合計所得が1000万円以上の人で、介護保険料は基準額の2倍の額になります)

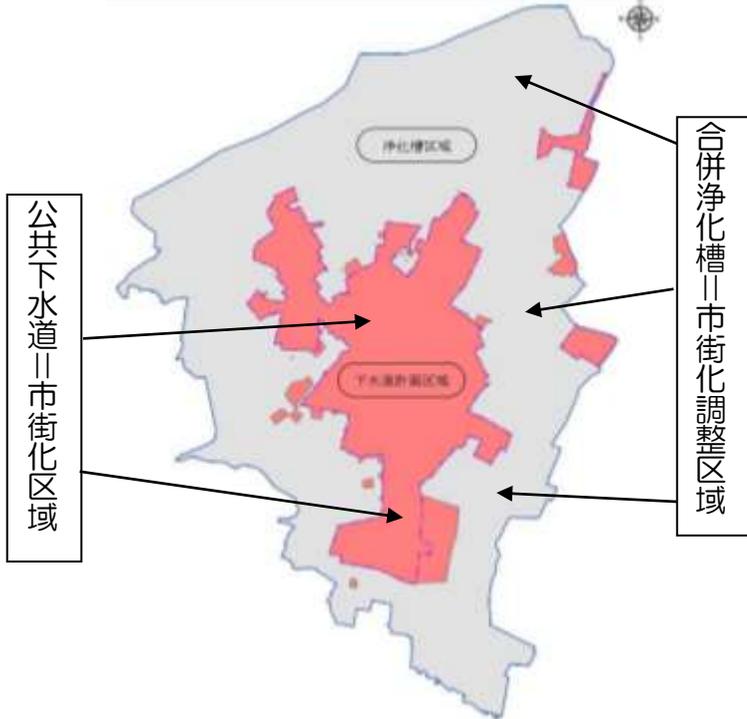
普通徴収を年8回に (後期高齢者医療保険料も)

年金から天引きできない低所得の方の介護保険料(普通徴収)は、仮算定を止め、年10期から8期の納期に変更になります。一度の納付額が増えるため、滞納の増加が心配されます。

認知症対応のグループホーム (地域密着型) 整備

入所施設の整備目標では、認知症対応のグループホーム(定員18人)を2022年度に。また、市内になかった24時間対応の定期巡回訪問介護看護の施設も1か所予定されています。

下水道は原則市街化区域のみ 調整区域の生活排水処理は合併浄化槽で



江南市汚水処理適正化構想の見直しと生活排水処理基本計画の改定(パブリックコメントは来年1月~)が発表されています。家庭の台所、トイレ、洗面所、風呂場から排出される汚水・生活排水を清涼な水質にまで処理する施設として、「公共下水道」と「合併浄化槽」があり、それぞれの整備方針と目標を設定していますが、これまでと大きく方針が変わりました。

江南市の生活排水処理人口は 2019年度末で、公共下水道が28.2%、合併浄化槽が47.5%。合計で75.7%にすぎません。

市街化区域の下水道整備の遅れと、調整区域での単独処理槽(トイレ汚水のみを処理するもの。現在、新設が認められていない)の撤去、合併浄化槽への転換が遅れているためです。市民の24%にあたる24,386人が適正に汚水・生活排水を処理しないまま側溝、河川、海洋に流出させている状態で、河川等の水質悪化の原因となっています。

「汚水処理適正化構想」の見直しで、公共下水道による整備は原則市街化区域とし、調整区域については合併浄化槽で処理する方針に切

り替わりました。下水道への接続を促進すると同時に調整区域における合併浄化槽への転換を促進し、2025年度までに生活排水処理率を85.0%にまで高める方針です。(最終的に市民の約半分が下水道、半分強が合併浄化槽での汚水処理となります)

合併浄化槽の維持管理補助と 宅内配管工事への補助新設も計画

調整区域で単独処理槽のままの家庭に対しては、設置費補助制度を周知し、合併浄化槽への転換工事を強くお願いすることになります。市民負担は、下水道に比べて合併浄化槽の方が約1.7倍重く、合併浄化槽への転換には宅内配管工事も別途必要です。下水道世帯との負担差をなくし早期の転換を進めるため、市は合併浄化槽の維持管理費補助や宅内配管工事補助制度を新設する計画も立てています。